

しずく

No.
136
2026.1

●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県雫石町議会

議会だより

●今号の主な内容

特集おしえて、

雫石町議会…2

12月定例会…10

町政を問う

一般質問 10議員が質問…12

委員会レポート…20

ふるさとへの便り(102)…23

●今号の表紙／なかよしシリーズ

「わたしたち3きょうだい」…24

特集

おしえて、雫石町議会

撮影場所：ホテル森の風鶯宿

町議会ってなあに

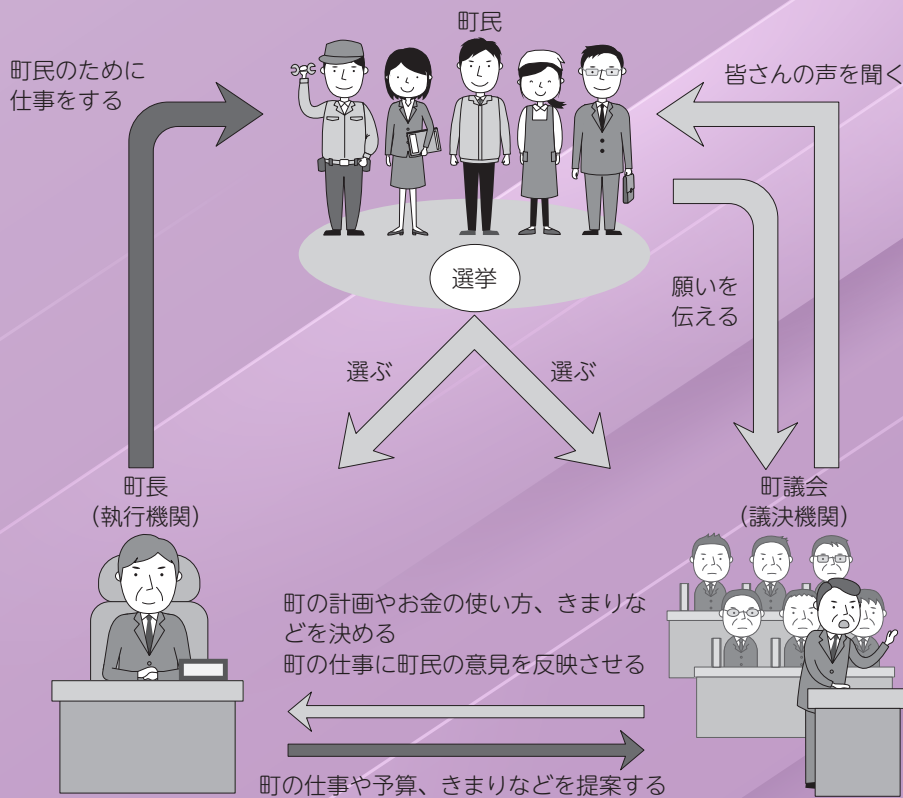
皆さんは普段、水道の水を使い、道路を歩いて学校に行きます。お友達と公園で遊ぶこともあります。

水道、道路、学校、公園などをつくらしたり、管理したりするのは主に町の仕事で、どれも大切です。ですからみんなで話し合い、つくり方や使い方を決めることが必要です。

でも町民が全員で話し合うのはむずかしいため、**町民に選挙で選ばれた代表者(=議員)が皆さんのかわりに話し合い**をします。

それが町議会です。議員は生活と社会が、豊かでよりよいものにするために、町議会は大切な役割をはたしています。

議会の仕組みはどうなっているの



今特集では議会の役割や話し合いの進み方、町の決まりごとがどのように決まってきたのかを、できるだけやさしい言葉でまとめました。

町民の皆さんからは、「議会の活動が子どもたちにもわかるように説明してほしい」、「議会を身近に感じられる工夫をしてほしい」という要望や意見をいただいていることから、子どもたちが学びやすく参加しやすい機会をつくり、また分かりやすい情報発信に取り組んでいきたいと考えています。

18歳になれば、一人ひとりが選挙で投票できる一票を持ち、町の未来に自分の意思を届けることができます。この特集が、ご家庭や学校で話題にしたいだきつかけとなり、世代をこえて町の未来を考える一歩になれば幸いです。



おしえて、雲石町議会

今号の特集は、「子どもたちに議会を身近に感じてもらう」、18歳からの選挙につなげる「こと」をテーマにお届けします。



議員ってなにをするの

町議会議員は町のみんなの代表

栗石町議会議員は、町のことを話し合うために、町民の代表として選ばれた人で、25歳から立候補できます。選挙は4年ごとに行われ、投票は18歳からできます。また、16人の議員から「議長」と「副議長」が選ばれます。

議長は町議会の代表で、会議を進めたり、まとめたりします。
※現在の議員は、15人（男13人、女2人、1人欠員）です。

議員って
どんな人なの？



どんな仕事を
しているのかな？



議員活動(町のみんなとつながる仕事)

- ・町民からの相談・要望等を聞き、議会で伝えます。
- ・町内の学校や施設、道路などを安心して利用できるかチェックします。
- ・町の困りごとを一緒に考えます。

議会活動(町の未来を考える仕事)

- ・町の大切なルール(条例)を決めます。
- ・町のお金の使い方(予算)を決めます。
- ・お金の使い方が正しかったか(決算)をチェックします。
- ・町の仕事がきちんと行われているかを話し合い、調べます。
- ・町の考えについて質問したり、意見を言ったりします。
- ・国や県に「こうしてほしい」と要望(意見書)を出します。

議場ってどんなところ



① 議長席

ものごとを決めるために、話し合いをまとめて進める議員を「議長」といいます。

② 町長席

町長は、町民のくらしをよくするため、仕事を計画して、町議会に相談・提案します。

③ 説明員席

町長と一緒に町の仕事を進め説明する管理職。

④ 演壇

発表・提案するときは、ここで話します。

⑤ 発言席

質問する議員はここで話します。

⑥ 議員席

議員は、決められた席に座っています。自分の席から質問する事もあります。

⑦ 傍聴席

誰でも本会議をここから見学することができます。車イスの方でも安心して見学できるスペースもあります。

どんなふうに話し合うの



話し合いのしくみ

議員があつまって町議会が開かれます。

議員を集めることを招集しょうしゅうと言い、招集は町長が行います。町議会には、毎年4回開かれる会議「定例会」（3月・6月・9月・12月）と急いで決めなくてはならないことができたときに開かれる会議「臨時会」があります。

会議では町長から、町の仕事の計画やお金の使い方についての説明を受け、それに賛成か反対かを議員が話し合って決めています。

また、会議には議員全員で話し合う「本会議」と担当を分けて話し合う「委員会」があります。

【町議会のスケジュール（例）】

1月	○第1回臨時会	本会議	委員会
2月	○第2回定例会	本会議	委員会
3月			
4月			
5月			
6月	○第3回定例会	本会議	委員会
7月	○第4回臨時会	本会議	委員会
8月			
9月	○第5回定例会	本会議	委員会
10月			
11月	○第6回臨時会	本会議	委員会
12月	○第7回定例会	本会議	委員会

町議会の期間は各定例会・臨時会の初日の本会議で決められます。

町議会の進め方

本会議

- 町長が町の仕事の計画やお金の使い方などを提案する
- 提案の内容を説明する
- 各議員が質問する
- 賛成または反対の立場で意見をのべる
- 賛成か反対かを採決する など

全員で話し合う場

委員会

- 議案について、さらにくわしく調べたり話し合ったりする
- 委員会で話し合った内容をみんなに報告

たくさんの仕事を種類ごとに分けて少ない人数で、より専門的に話し合う場



栗石中学校 3年
佐藤 結さん
○アーチェリーの練習会場への送迎があったらいいです。



御明神小学校 5年
小坂 珠寿さん
○通学距離が遠くてクマも出るので、スクールバスに乗りたい。
○御明神にも集まって遊べる場所がほしい。



御明神小学校 5年
原 結愛さん
○どんな仕事をするんですか？
○学校のプールが所々壊れている。綺麗にしてほしい。

議会に
聞いてみたいこと
お願いしたいこと

委員会ってなあに

委員会の種類

～議員は必ずどれかの常任委員会に入ります～
委員会は、テーマごとに少人数でくわしく調べたり、話し合ったりします。

総務産業常任委員会

町全体の仕事の進め方や、農業や畜産業、林業、商工業や観光業の振興、道路、河川、町営住宅などの管理、防災、上下水道の運営などについて調査し話し合います。



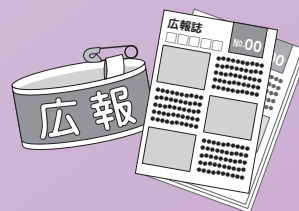
教育民生常任委員会

学校教育の充実やスポーツの振興、高齢者・児童生徒・障がい者などの福祉や医療などについて調査し話し合います。



広報広聴常任委員会

議会の内容を掲載している「議会だより」の作成や、町民に議会の仕事の報告や、町民からの希望や意見を聞いたりする会を行ったりします。



議会運営委員会

議会の進め方やルールなどについて話し合い決定します。

議員報酬等適正化調査特別委員会

特別委員会は特定のことで調査研究するために、そのつど特別に設置されます。今回は議員定数や報酬等についての調査事項を話し合います。

常任委員会では、担当している分野についてくわしく知り、よりよい考えを見つけるためにほかの市や町の進んだ取り組みを見に行き学んでいます。



栗石中学校 2年

工藤 空良さん
○学校支援員の先生などが増え、個別で勉強を教えてもらえる機会が増えるといいと思います。



栗石中学校 2年

高橋 凜空さん
○ウインタースポーツに親しめる場をつくってほしい。
○議会見学会など議会にふれる機会がほしい。



栗石小学校 3年

横手 瑠那さん(中央)
○アスレチックパークのような公園をつくってほしいです。
○今ある公園に新しい遊具を増やしてほしいです。
○季節で楽しめるイベントを考えてほしいです。
(東京に住んでいるいとこと一緒に考えました。)

わたしたちの意見はどうすればいいの



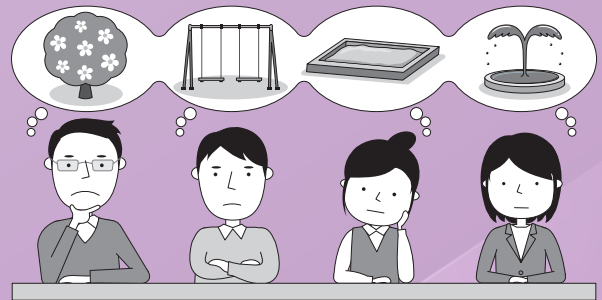
町民の皆さんが栗石町議会に要望を伝えたいときには
せいがん ちんじょう
 請願・陳情という制度があります。

請願・陳情ってなんだろう

町の仕事などに要望があるときは、町議会に直接、
 文章で伝えることができます。

議員を通して提出するものを「請願」といいます。

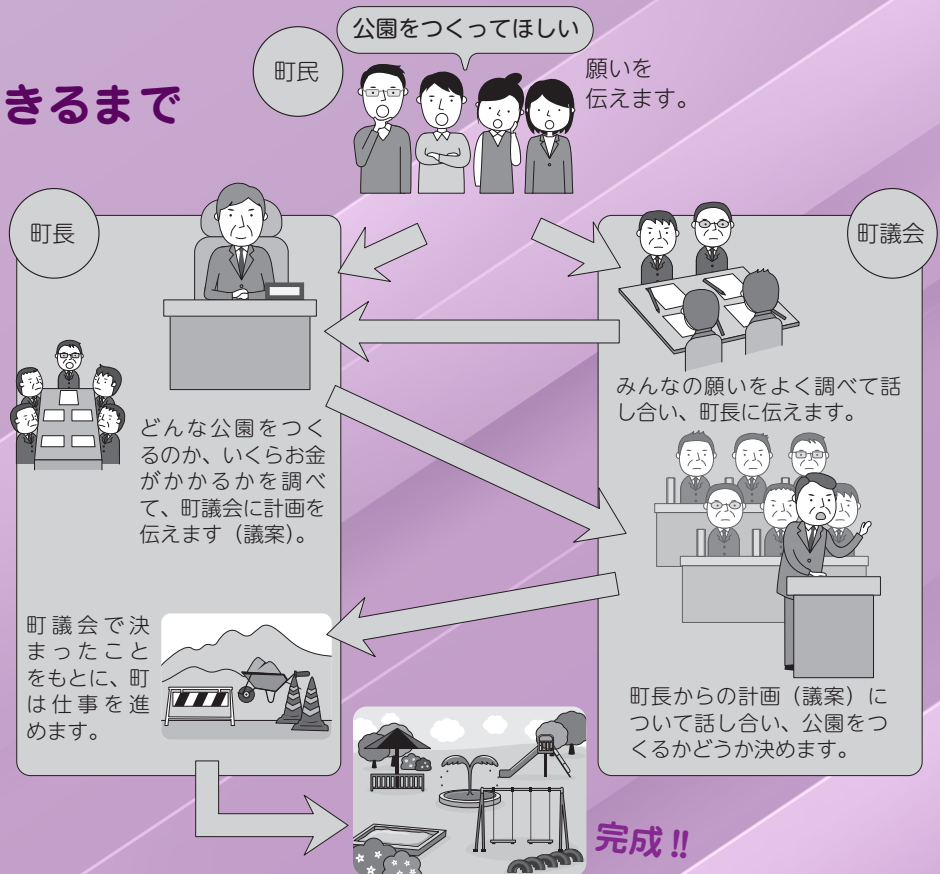
議員を通さずに提出するものを「陳情」といいます。



たとえば、 みんなの公園ができるまで

町民からの要望があると、議会はこのような話し合いをかさねます。

地域にとっての願いである「公園の建設」もさまざまな考え方をもちた多くの議員によって検討され、町の仕事として実現します。



右から
 御所小学校 4年
 澤田 唯衣さん
 ○ランドセルの中身が重すぎるよ。
 御所小学校 4年
 高橋 乃愛さん
 ○友だちが近くに住んでいたらもっと楽しいのかな



栗石中学校 2年
 煙山 惣太さん
 ○ぜひ栗石にファストフード店を出店して頂き、若者が気兼ねなく出入りできる場所がほしい。



栗石中学校 3年
 千葉 那都希さん
 ○町内の空きテナントなどを利用して、年齢問わず集まって勉強したり、遊んだりできる場所がほしいです。
 ○栗石町のポウリング人口を増やしたいです。

わたしたちも参加している町議会

～議会は、みんなの声で動いています～ 



ぼうちょう 傍聴

議場ではどんなことが話し合われているか、皆さんも直接その様子を見たり、聞いたりできます。

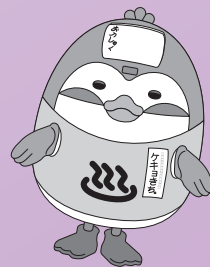
ぎ かいちゆうけい 議会中継

議場の様子を町のホームページからインターネットを通じて中継を見ることができます。

ぎ かいこうほうし 議会広報紙

広報紙（しずくいし議会だより）を発行して、町議会の活動内容を伝えています。

各行政区の区長さんを通じて配っています。



町の未来は、みんなでつくる

議会は遠い存在ではありません。

栗石町で暮らす一人ひとりの思いが、話し合いを通して町の未来につながっています。



左から
御所小学校 5年
① 上野 悠真さん
御所小学校 3年
② 川崎 耀心さん

御所小学校 5年
③ 高藤 悠都さん
御所小学校 5年
④ 左近 風磨さん
① いつでもクロスカントリーの練習ができる場所がほしい。
② スポーツがたくさんできる環境を整えてほしい。
③ 給食最高です。あと一品増えないかな。
④ 外で遊べと言われてもクマが怖くてなかなか遊べない。



栗石小学校 5年
高橋 湊斗さん
○クマの心配をしな
いで思いつきり遊
べる場所をつくっ
てほしいです。



栗石中学校 2年
矢幅 旬さん
○バスケットボール
専用コート施設が
ほしい。



なぜ今検討するのか

人口減少が進む現在、全国的に議員のなり手不足問題が広がっています。栗石の将来を担ういろいろな人が町政に参加する機会を広げ、さらに議会の活性化と開かれた議会運営に取り組むため、議員定数と議員報酬の見直しが必要と考えたものです。



どう議論を進めるの

特別委員会は令和7年11月28日に開かれた第6回臨時会で設置し、構成議員は議長を除く全議員としました。委員長には横手寿明議員、副委員長には加藤眞純議員が互選されています。

特別委員会では県内他自治体や全国の類似団体の議員定数並びに議員報酬の状況を調査し、本町議会議員の活動量調査を行い、その活動量に応じた「原価方式」により報酬額の見直しを行うこととしました。



新たな原価方式による議員報酬の算定式

$$\begin{aligned}
 & \text{議会・議員の活動日数} \quad \underline{\quad} \text{日} \\
 & \text{-----} \times \text{首長の給料} \quad \underline{\quad} \text{円} \\
 & \text{首長の職務遂行日数} \quad \underline{\quad} \text{日} \\
 & \text{-----} = \text{議員報酬額} \quad \underline{\quad} \text{円}
 \end{aligned}$$

どうする 栗石町議会の 議員定数と報酬

栗石町議会では次の一般選挙（令和9年7月予定）に向け、適正な議員定数と報酬の検討を進めていくとして「栗石町議会議員報酬等適正化調査特別委員会（以下「特別委員会」という。）」を設置しました。

町民皆様のご意見も今後お聞きし、栗石町の未来と議会の将来のあり方を見据えて、どうあるべきかを考えていきます。

現状と課題はどうか

栗石町議会の議員定数と議員報酬額は、それぞれ栗石町議会基本条例に定められており、その定数と報酬額の変遷は表1のとおりです。

人口減少と高齢化が進む中、町の課題は多様化・複雑化しています。町民の幅広い意見を集約して、地域社会のあり方を議論する議員には多様な人材が求められます。多様な人材とは男女問わずに被選挙権を有する町民で、栗石町の発展のために尽力してくれる人材を指しています。

女性や若者、子育て真っ最中の方々など、多種多様な町民が議員になれる環境を整え、活動しやすくするための待遇を改善していくことも課題の一つと捉えています。

削減か

現状維持か

議会・議員活動は町民に見えにくいです。その内容は定例会や臨時会のほか常任委員会の委員活動、議案の審査、また、資質を高めるための研修や視察、町内で開催されるイベントなどへの出席など多種多様です。この見えにくい部分を皆さんに知っていただき、その上で議員定数と議員報酬の適正化を検討していきます。

表1 栗石町議会における議員定数と報酬額の変遷

年度	定数	議員月額報酬(単位:円)		
		議長	副議長	議員
平成8年度以前	22人	295,000	240,000	230,000
平成8年度		298,000	242,000	232,000
平成10年度		303,000	246,000	236,000
平成12年度		306,000	248,000	238,000
平成16年度		296,000	238,000	228,000
平成18年度		306,000	248,000	238,000
平成19年度	20人			
平成27年度以降	16人			

※平成16、17年度の2年間は、地域経済の低迷や厳しい財政環境等を勘案し、議員報酬を一律1万円減額し、平成18年度より現状の報酬額に戻した。

具体的な調査も開始

町議会ではあらかじめ各議員の令和6年、令和7年における議会・議員活動の活動量調査を実施しました。令和7年12月11日の第1回特別委員会の協議では、その結果を共有するとともに、他自治体との比較検討なども行いました。

この結果を踏まえ、議員アンケートも実施し、今後協議するうえでのデータベースを定め、適正化に向けた議論を進めていきます。

議会の視点



栗石町がこれからの未来も存続でき、その時に多くの町民が議員に立候補しやすくなる環境や条件を整えるため、議員報酬を増額すべきかも検討していく必要があります。

議員報酬は、議員活動としての「役務の対価」であり、生活をするための「生活給」を前提とした給与ではない、と言われる一方で、近年の地方自治法などの改正により、議会や議員の活動量は増加しています。その結果、議員の活動に多くの時間が必要とされ、他の仕事を兼業する議員も、その仕事に充てる時間が減少し収入も減るため、議員報酬がそれに見合わない場合、「少ない議員報酬では生活できない」といった理由により、議員になることを選ばず、立候補を躊躇する原因の一つともなっていると考えます。

今後のスケジュール(主なもの)

令和8年	内容
1~3月	見直しに係る検討・協議
4~5月	条例等協議
6月	町民アンケート、懇談会等の実施
7月	町民の意見等精査
8~11月	最終報告案の協議
12月	増額の場合「特別職報酬等審議会」へ諮問

令和9年	内容
1月	審議会答申
3月	定例会において条例案議決
4月	町民への周知
7月	改選による町議会議員通常選挙
8月	定数・報酬改正の場合新定数・新報酬の適用

12月定例会のあらまし 補正予算、条例の一部改正など10件を可決

● 旧上長山小学校利活用事業の補正予算は議会の理解を得てから執行

● 町選挙公営に係る選挙運動用ビラ・ポスター経費の限度額引き上げ

● 水道料金、令和8年4月1日より増額

令和7年12月定例会は、12月4日から12日までの9日間の会期で行われました。

本定例会では、条例の一部改正4件、補正予算5件、その他1件を審議しました。

一般質問は、10人の議員が登場し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えを質しました。

また、旧上長山小学校利活用事業の補正予算3事業に関し、5人の議員より質疑があり、町長は、この事業について、議会に説明後、理解を得られるまで執行しないことを表明しました。その後の採決では、全補正予算は可決されました。

令和7年度補正予算（一般会計及び特別会計）

会計名	補正後予算額（補正予算額）
一般会計（第6号）	115億2,159万1千円 (1億3,729万1千円増)
国民健康保険特別会計（第1号）	18億1,372万6千円 (972万6千円増)
介護保険事業勘定特別会計（第2号）	23億7,694万4千円 (8,279万3千円増)
後期高齢者医療特別会計（第2号）	2億4,491万6千円 (237万2千円増)
水道事業会計（第3号）	3億8,058万8千円 (281万6千円増)

主な補正予算

社会福祉政策推進事業

○福祉灯油等助成金 1050万円

原油価格・物価高騰の影響により、福祉的支援を要する生活困窮者に対して灯油、電気、ガス等のほか、防寒用品や雑貨類等の購入経費に県と町で2分の1ずつ補助する。1世帯当たり7000円の助成を1500世帯を見込み実施する。

医療費助成事業

○安心子育て医療費 262万2千円
○ひとり親家庭医療費 90万5千円
○子ども医療費 210万7千円

4月から10月までの給付実績と、こ

れに基づき11月から3月までの見込みを再計算し増額したものを。

地域営農推進事業

○戸沢揚水機受益者支援補助金

276万1千円

令和7年5月1日に発生した戸沢第一揚水機場第2ポンプ故障に伴う排水能力不足により、水稲の作付ができなかった受益者26名に対し、栗石町土地改良区が苗代金相当額の補填金助成を行い営農支援を行う。これについては栗石町土地改良区から町に対し支援要請があり、助成額の8分の3を補助する。

住宅政策推進事業

○若者向け住宅取得支援奨励金

500万円

11月末時点で17件の申請があり、予算残額が60万円となっている。前年度12月から3月の申請実績が7件あり、今年度も同様の件数を見込み増額した。

こころが変わる

○町議会議員及び町長の選挙運動の公営に関する条例の一部を改正

公職選挙法の改正により町議会議員及び町長の選挙における選挙運動用ビラ及びポスターの作成の公営に要する経費の限度額を引き上げるもので、公布の日から施行する。

○水道事業給水条例の一部を改正

水道料金を改定し、基本料金及び従量料金を増額するもので、令和8年4月1日から施行する。

主な質疑

Q 【石持議員】水道料金について、改正による収入増加額とそれに見合う改修工事延長はどれくらいか。

A 【上下水道課長】令和6年度に比べ3000万円増額の見込み、

工事は約300メートル延長できる。

Q 【横手議員】若者向け住宅取得支援奨励金は、上限が100万円であるが他の自治体でも同様の施策を行っている。さらに拡充して、より魅力ある施策にするべきでは。

【町長】町財政も人件費や物価高騰で相当厳しくなる。このような状況も勘案しながら、来年、再来年には制度拡充をしていく。

A 【町長】町財政も人件費や物価高騰で相当厳しくなる。このような状況も勘案しながら、来年、再来年には制度拡充をしていく。



若者定住につなげたい住宅取得支援奨励金



行く末が見えない旧上長山小学校

Q 【堂前議員】旧上長山小学校校利活用の優先交渉権者から提出された事業計画書等に不明な点が散見され、さらに指定管理の実績も無いなど、事業継続できるのか不安である。なぜこのような企業を優先交渉権者にするのか。

A 【町長】地域及び金融機関代表と総合政策課で構成される審査委員会において地域貢献度や実現可能性等を採点して選定した。

令和7年第7回雫石町議会 12月定例会 議決結果等一覧 会期：12月4日(木)～12月12日(金)

議案等番号	件名	高橋公史	小笠原百合子	畠山操	金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤真純	杉澤敏明	西田征洋	山崎留美子	議決結果
議案第4号	雫石町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決
議案第5号	令和7年度雫石町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第6号	令和7年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第7号	令和7年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第8号	令和7年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決

○…賛成、●…反対 ※幅議長は採決には加わりません。

★その他の議案、認定、発議は、全員賛成しました。

令和7年第6回栗石町議会臨時会（11月28日）

令和7年第6回臨時会が11月28日開かれ、令和7年度栗石町一般会計補正予算（第5号）を含む議案8件について審議し可決しました。また、栗石町議会議員報酬等適正化調査特別委員会の設置について発議され可決しました。

一般会計補正予算（第5号）

補正前の額	113億4,785万9千円
補正後予算額	113億8,430万円
補正予算額	3,644万1千円

主な質疑

Q 【徳田議員】セツ森小学校に階段昇降機が設置になるが、事故防止のための定期点検の実施と地震発生時や不審者の侵入など有事の際の対応をどのように行うか。

A 【教育次長】階段昇降機は1年間には保障され、1年後からは保守点検が必要となる。有事の際の対応は、避難訓練の際に、消防署員から車

ここが聞きたい 一般質問 町政を問う 10議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

12 ページ 遊休農地に対する今後の取り組みは

質問者／岡本忠美 議員

14 ページ GIGA スクール構想で学力向上したか

質問者／横手寿明 議員

14 ページ 犯罪被害者等支援条例の制定を

質問者／徳田幸男 議員

14 ページ 行政区公民館へエアコン設置の補助を

質問者／金子一男 議員

16 ページ 主要農畜産物の生産・販売の動向は

質問者／坂井尚樹 議員

Q 遊休農地や荒廃農地が増えているが今後の取り組みは。

A 農地として利用可能な当該地に対しては、所有者の利用意向調査を基にして管理指導を実施していく。所有者の農業経営の現状を確認のうえ、農地を手放したい、貸し付けたい場合は、規模拡大意向のある担手の集積に結びつける。

農業委員会会長 農地所有者の意向を基に対応する

遊休農地に対する今後の取り組みは

質問者／岡本忠美 議員

国の「猫の目農政」では安心して稲作経営は取り組めないよ

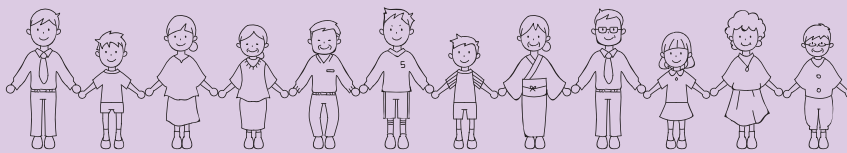


議案等 番号	件名	高橋 公史	小笠原百合子	畠山 操	金子 一男	坂井 尚樹	徳田 幸男	岡本 忠美	堂前 義信	横手 寿明	岩持 清美	加藤 真純	杉澤 敏明	西田 征洋	山崎留美子	議決結果
議案 第3号	令和7年度雫石町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決

○…賛成、●…反対 ※幅議長は採決には加わりません。

★その他の議案、認定、発議は、全員賛成しました。

イスでの避難方法についてアドバイスを受けたほか、今後、必要な機材の要望があれば支援していく。



QRコードを読み込むと、各議員の一般質問の動画へ進みます。



16 ページ **アウトドア観光事業の取り組み成果は**

質問者／^{どう ぜん よし のぶ}堂前義信 議員

16 ページ **用水路から水があふれると聞くがどうか**

質問者／^{にし だ まさひろ}西田征洋 議員

18 ページ **ポンプ故障への対処は**

質問者／^{すぎ さわ とし あき}杉澤敏明 議員

18 ページ **移住者受け入れ体制の具体策は**

質問者／^{やまざき る み こ}山崎留美子 議員

18 ページ **町長の残任期間における目指すまちの姿は**

質問者／^{か どう ま す み}加藤真純 議員

ワクチン接種の助成金の状況は

Q 感染症対策にワクチン接種が必要だが、助成金の状況は。

A インフルエンザは、65歳以上の高齢者と重症化のおそれのある一部の方に対し、2300円の助成を行っている。それ以外の方は、1回の接種につき2000円の助成を行っている。新型コロナウイルスの予防接種は高齢者を対象に費用の半額の7800円を助成している。



重症化を軽減するワクチン接種

いじめ・不登校の対策は

Q 小中学校のいじめ・不登校対策と今後の取り組みは。

A 各校が定めるいじめ防止基本方針に基づき、相談窓口の周知、児童生徒と家庭に対するアンケート、心と体の健康観察などからいじめの早期発見に努めている。不登校対策は、毎月各校から提出される長期欠席等児童生徒の状況報告から児童生徒一人ひとりの欠席日数や不登校の状態などを把握し、校長会議で情報共有と対策の検討を行っている。



小中学校のタブレット、特定教科以外の学習活動にも活用を



質問者／横手寿明 議員

GIGAスクール構想で学力向上したか

教育長 端末を活用し学力育成につなげた

Q GIGAスクール構想により、町の児童生徒の学力は具体的にどう変わったか。

A 各小中学校に高速大容量の通信網の整備を行ってきた中で、令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果は、小学校では国語、算数とも県平均を上

回っている。中学校は国語、数学とも県平均を下回っていた。確かな学力の育成には、児童生徒一人ひとりの「こころ」に着目し、



多様な活用が期待されるタブレット端末

早期実現となる支援条例



質問者／徳田幸男 議員

犯罪被害者等支援条例の制定を

町長 条例を制定できるように取り組んでいく

Q 県内の市町村では、盛岡市のみが犯罪被害者等支援条例を制定しているが、隣接する宮城県や秋田県の市町村では、全て制定している。町でも早期に条例を制定し支援をしては。

A 県や近隣市町の動向を踏まえながら、専用相談窓口の設置、見舞金支給制度の確立など支援体制の検討を進めている。これまで得られた情報を精査し、令和8年3月に条例を制定できるように取り組んでいく。

診療所に併設している「つどいの広場」は、町民が集える場所へ



質問者／金子一男 議員

行政区公民館へエアコン設置の補助を

町長 補助制度の変更を検討している

Q 各行政区公民館から、熱中症対策としてエアコン設置要望が多く寄せられたが、補助を受けて設置した行政区は1行政区であった。今後、要望への対応は。

A 全ての補助要望に対応するためには制度の見直しが必要であり、来年度以降は補助金の内容を拡充し、エアコン本体の購入に補



要望により設置された公民館

学習の改善や授業の改善に活かすことが重要と捉えている。

※GIGAスクール構想 全国の小中学生にデジタル端末の配備を進める国の構想。

地域運営組織、今後の運営は

Q 町の人口減少や高齢化が進んでいく中、今後、運営を続けていけるのか。

A 人口減少や高齢化が進む中で、組織を継続して運営していくことは、決して容易ではない。行政主導ではなく、住民主体の無理のない範囲で活動することが重要と考えている。

部活動の地域移行における課題解決に向けた取り組みは

Q これまでの学校部活動・地域クラブ活動状況調査等で挙げられた課題の解決に向け、今後どう取り組むのか。

A 令和6年度、状況調査を実施した。挙げられた課題、「指導者の人材や謝礼の確保」、「保護者の送迎負担」、「運営や責任の所在」等について講演会を開催した。関係者と現状や課題を共有し、地域移行の最新事例を学び、意見を参考に取り組む。



進む犯罪被害者等への支援

町有地活用事業の進捗状況は

Q 町有地活用事業が計画通り進んでいない。直近、1年間の取り組み状況と今後の見通しは。

A 「果樹の苗木の定植」など具体的な活動が展開されている。今後の見通しは、事業者から、厳しい建設コストや人材不足を踏まえ、計画の見直しを行うと伺っている。

クマによる通学路の安全対策は

Q クマによる人身被害が相次ぐ中、通学路の安全対策の実施状況と今後の対策は。

A 出没した地域の小中学校に対し、詳しい内容を連絡するなど安全対策を講じている。今年度の状況を踏まえ、来年度予算について検討していく。

助する制度への変更を検討している。

発熱外来の場所を新設しては

Q 栗石診療所の発熱外来として、「つどいの広場」の一部を使用しているが、医師の診療等を考慮した発熱外来の場所を新設しては。

A 感染症対策として、発熱外来の設置は必要である。つどいの広場の活用再開に向け、恒久的な発熱外来のあり方を検討し、必要な改修費等を来年度当初予算に計上する予定である。

鶯宿温泉未活用施設の利活用と支援は

Q 鶯宿温泉エリアの廃業施設の現状と今後の利活用への支援は。

A 安全対策と鶯宿温泉地域の活性化の観点から廃業した宿泊施設が長期に渡り空き家の状態が続くことは望ましくない。必要に応じて安全対策を図るとともに事業継承を検討する民間事業者に対して可能な範囲で情報提供を行っていく。



約2億円規模となる交付金の使途は、慎重かつスピード感を持って

質問者／坂井尚樹 議員



主要農畜産物の生産・販売の動向は

町長 花き・畜産が前年以上の伸び、コメは140%増

Q 主要農畜産物の、令和7年度現在までの生産量と販売額は。

A 令和7年度10月末時点のJAなどへの系統出荷分は、コメ2千852トン、19億7千万円、野菜1千75トン、3億6千万円、花き360万本、2億3千万円、畜産3千700頭、9億7千万円、酪農が約2千123トンで、約2億7千928万円。前年同月と比較すると、販売額はコメ・花き・畜産が前年以上の伸びで、コメは140%増である。

アウトドア事業、経済波及効果がわからないなあ

質問者／堂前義信 議員



アウトドア観光事業の取り組み成果は

町長 一定の効果があつたと捉えている

Q 経済波及効果・雇用促進等の取り組み成果は。

A 参加者の中には、町内の近隣観光施設や飲食店、温泉施設等へ立ち寄り、おりに経済効果があつたと捉えている。

Q 株式会社モンベルとの連携の効果は。

A サイクリングガイド養成講座への講師派遣、オリジナル商品の作成・販売等を取り組んだ。今年度末に道の駅栗石あねつ

クマとインフルエンザ終息に小中学校の冬休みを早めたかった

質問者／西田征洋 議員



用水路から水があふれると聞くがどうにか

町長 管理する土地改良区も把握していない

Q 土地改良区が管理する御明神地区の用水路が田植え時期になると越水すると聞くがその状況を把握しているか。

A 土地改良区では水門等の管理も適正に行っているが、越水に伴う被害については把握していないと回答を得ている。

Q ありね山荘への配湯対策は

A 休暇村施設から、ありね山荘へ配湯が不安定な状況と聞くがその対策は。

Q 令和9年度以降の水田活用交付金直
が生産者に与える影響と町の対応は。

A 水田活用交付金は、抜本的見直し予定
だが新制度の詳細は未定。飼料用米除
外も国の方針が明確でないため動向を注視
し、制度概要が示され次第、速やかに農家へ
説明する。

物価高騰への支援事業の実施状況は

Q 今年度、これまでに実施してきた物価
高対策に対応する支援事業の内容は。

A プレミアム商品券発行や低所得世帯へ
の支援金、学校給食費補助、光熱費高
騰支援として、「福祉灯油助成金」など物価
高対策を実施した。



地域経済と家計を応援するプレミアム商品券

こ内に設置予定のモンベルコーナーが、新た
な観光資源となり交流人口の増加につながる
ものと期待している。



毎年参加者が増加しているゆるゆるデイキャンプ

農業振興の取り組みは

Q 町単独の支援を拡大充実するべきでは。

A 農業者が意欲を持ち取り組める仕組
み、新規就農者が入りやすい環境の整
備を通じ、担い手の確保や耕作放棄地の増加
を防ぐため農家支援の充実を目指す。

A 令和5年度に実施した網張温泉源泉工
事計画策定業務委託による網張温泉源
泉の現状調査と工法別の比較検討をしてい
る。今後も地域の実情を踏まえ、継続的に対
策の検討を進める。



安定したお湯の供給が望まれるありね山荘

鳥獣被害対策は

Q クマ出没に係る被害が多かったが、被
害を未然に防ぐための対策は。

A 外出時に鈴など音が出るものを携帯す
ることや、各家庭等における敷地内の
放置果樹や生ごみなどの誘引物を適正処理し
てもらい、また見通しを良くすればクマが隠
れにくいことから刈り払いなど環境整備を進
めていく。



戸沢地区の稲作は、施設の老朽化と電気料金の増大で継続困難です



質問者／杉澤敏明 議員

ポンプ故障への対処は

町長 土地改良区が修繕を行う予定

Q 戸沢第一揚水機場第2ポンプの修繕についての説明会での内容は。

A 令和8年度に町土地改良区が事業主体となつて、農業水路等長寿命化・防災減災事業（補助事業）により修繕を行う予定であることが説明された。

Q 修繕に当たっては、地区の農家から負担金は徴収しない。町負担分の補助金増額を検討しては。

A 要望はあるが、来年度予算に関わることなので、まだ未確定である。

町内で抱える様々な課題、外部視点でときほぐす協力隊が欲しいな



質問者／山崎留美子 議員

移住者受け入れ体制の具体策は

町長 相談支援窓口の機能充実を図っている

Q 移住者受け入れ体制の整備など、具体的な施策は。

A 移住相談から定住後の生活までをワンストップでサポートするため、「移住・定住相談支援窓口」の機能充実を図っている。



機能充実を図っている支援窓口

わが町にはブランドがない、栗石ブランドをデザインしよう



質問者／加藤眞純 議員

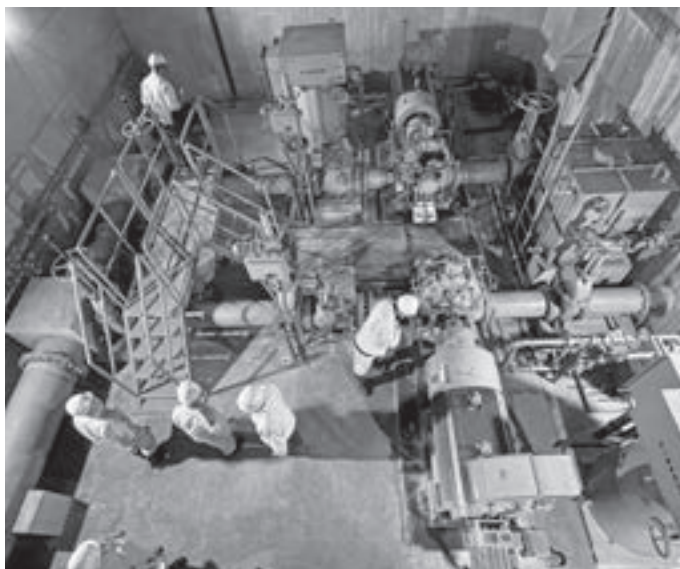
町長の残任期間における目指すまちの姿は

町長 人口減少・少子化に歯止めをかけること

Q 残任期間では目指すことが多くあり、次期もやらないと達成できないのでは。

A 次期はまだ明言できないが、人口減少・少子化対策の重点施策として「若者の定住・雇用の確保」に取り組み、民間主導で居住環境の整備推進、企業誘致を進め、着実な雇用創出を実現させていきたい。

シテイプロモーション活動は



令和8年度に修繕し、令和9年度から稼働予定

移住定住施策の制度拡充を

Q 若者向け住宅取得支援奨励金に土地取得に対する奨励金も加え、制度を拡充してほしい。

A さらになる財源の確保や、現在実施している住まいと子育て施策の全体的な整合性などを慎重かつ総合的に検討する。

空き家バンク制度の周知を

Q 空き家バンクへの登録件数が少ない。ホームページの見直しや周知方法を検討してほしい。

A ホームページで公開している空き家バンク登録件数が伸び悩んでおり、空き家バンク案内文書を町内外の所有者に発出するなど物件登録を促している。より効果的な情報提供の方法を研究し、実践することで登録物件の増加に努める。

地域おこし協力隊の新たな募集は

Q 地域おこし協力隊は、町の新しい風となり活力を生み出す重要な存在である。新たな募集に関し考えている業務や部署は。

A 単に協力隊の人数を増やすことよりも、活動終了後も本町で生活基盤を築けるような質の高い活動環境を整えることを最優先とした制度設計を重視しており、積極的な募集は控えている。制度設計を踏まえたビジョンを明確にした協力隊の募集に注力していく。

Q 虹の出るところは、市町村を問わずどこでも虹は似合う。「虹の似合うまち○○」はどの市町村にも当てはまるもので没个性的で根拠のない表現だと思うが、今までのシティプロモーション活動にかけた費用は。

A 平成30年のブランドメッセージ策定支援業務委託からシティプロモーション推進委託までで3000万円ほど。



町のブランドロゴ

Q 栗石は全国でも数少ない永続地帯である。正確なデータに裏付けされ、将来にわたって確固たる柱となるキャッチフレーズにするため、現在の折衷で「虹の似合う永続地帯 栗石」にしては。

A 今のブランドメッセージは道半ばなので、変更が必要である状況が判明した際の一つの案と捉えていく。

総務産業常任委員会

[岡本忠美委員長]

視察 1 鳥取県琴浦町 10月1日 移住定住の取り組みについて

<ここに注目>

- ・移住相談から住まい・空き家活用・お試し移住まで切れ目ない体制
- ・町内にハローワークの出先機関を設け、相談～住まい～仕事までの一本化

<感想>

相談から移住までのスピード感を感じました。また、取り組みの一つ、町外の人にも“まちづくりに関わってもらおう”「コトウラファンサポーター」などのユニークな取り組みは、町の関係人口づくりにも参考になりました。

(住みたい田舎ベストランキング全国1位)



人口減少対策の成果がでている琴浦町

視察 2 鳥取県米子市 10月2日 「かいけエリアデザイン」の 取り組みについて

<ここに注目>

- ・旅館関係者・金融機関・デザイナー・市役所に住民や移住者も加わる体制で皆生温泉の将来像を官民一体で同じ地図（ビジョン）を共有
- ・エリアとしての魅力を磨き直す取り組み

<感想>

温泉地・観光地をエリアで育てる考え方、そして官民連携は、共通の目的が見える形にすることがカギだと感じました。



官民連携が進む皆生温泉

教育民生常任委員会

[徳田幸男委員長]

視察 1 山口県周南市 10月29日 部活動の地域移行について

<ここに注目>

- ・事務局を設置し、文化活動とスポーツ活動をサポート
- ・平日、休日を一体とした新たな活動
- ・中学生の「やってみたい」を応援する体制づくり

<感想>

サポートセンター体制、コミュニティクラブの運営、財政確保、移動課題の対応策など、参考になりました。



部活動の地域移行の執行体制を学んだ

視察 2 山口県柳井市 10月30日 子育て支援策について

<ここに注目>

- ・中学校の給食費無償化とアレルギー対応の児童生徒との公平性
- ・子育て世代への住宅取得補助
- ・過去3年間で定住176件、578人

<感想>

子育て支援の充実には財源や人材確保など共通の課題があるものの、今後の施策に生かせる有意義な視察となりました。



子育て支援施策について意見交換

広報広聴常任委員会

[堂前義信委員長]

2町議会が視察来町 議会だよりの編集方針などを 意見交換

11月5日
大分県くすまち玖珠町議会
議会広報特別委員会
委員7名、事務局1
名が来町。



取材方法などについて
情報交換

11月10日
宮城県大河原町議会
議会広報常任委員会
委員6名、事務局1
名が来町。



議場を見学する委員たち

両議会ともに「議会だより」発行における編集方針や原稿作成のポイント、写真被写体の撮影方法について活発な意見交換を行いました。

○10月6日、10日、16日

議会だより135号編集会議を開催しました。

○10月23日

議会だより135号発行

○12月4日

議会だより136号の編集日程及び閉会中の継続調査について協議しました

町民懇談会 (議会報告会)

皆さんの意見と課題を聴きました

令和7年11月15日、町民皆さんの声を直接聴く機会として町民懇談会（議会報告会）を中央公民館で開催し、約20名が参加しました。

山崎副議長から現在の議会の状況をお知らせした後、参加者から意見や要望などお聴きしました。「スクールガードの役割とは何か。またクマ対策の講習もしてもらいたい」といった意見に対し、議員からは「大きな役割は子どもに対する声かけ事案を防止することが目的。また教育委員会に子ども、スクールガードの安全が守られるような対策を講じるよう提言していく」と回答しました。

1時間以上の懇談会の中で議会及び行政に対する意見や要望が15件あり、今後の町づくりへ活かすべく当局にも情報提供するとともに、必要なものは提言していきます。

このほかに寄せられたご意見などは次のとおりです。

- 町の業務執行、条例が古く実情に合わない。
- 選挙の投票率が低いことを心配している。
- 休日しかごみを出せない人もいる。セツ森のリサイクルセンターは土日休みだがどうにかならないか。
- 観光協会が登録DMOとなり1年経つが町の観光推進体制がどう変わるのか。
- 滝の上温泉の蒸気の噴出はすばらしい。観光業の発展につなげてほしい。
- 役場の業務に対し議員は観察・指摘する立場。町の課題に議論を重ね町に提案してほしい。

- スマホ教室を開いてくれないかと町に依頼したが日程の関係で断られた。
- 地域づくりネットワークはどこが主体で町は真剣に取り組んでいるのか。
- 雫石駅に着いてからの観光地までの交通手段がない。
- SNSやネットを活用し充実させてほしい。
- 新幹線が停まる雫石駅のホームにエレベーターがない。
- 地熱発電に町の命運をかけ取り組み、議員も勉強会を開催してはどうか。
- 身体障がい者の思いを議員にも理解してほしい。
- 以前4地区で開催していたように小さな規模で懇談会を開いてほしい。



さまざまな意見を受けた町民懇談会



ひろの たかお
廣野 孝男さん (78歳・駅前)

連なる山々と登山道

東日本大震災のあった2011年の秋に仙台から移住しました。被災者ではなく、山が好きで来ました。宝は、秋田駒から三ツ石、岩手山に連なる山々ですね。そして、その山々には昭和22～30年にかけて、地元の青年たちが登山道を開設しました。これも大事な宝です。

VOICE
No.31



しもさわだ ようこ
下澤田 葉子さん (63歳・岩持)

しずくいしの子どもたち

雫石の宝物、思い浮かぶのは子どもたちです。少子化時代と言われ続けて数十年。その中で、雫石に生まれ育つ子どもたちは未来を担う大切な宝だと思います。

地域においても子どもの成長を支え、温かい目で見守りたいと思います。

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。



そとむら いくこ
外村 育子さん (64歳・天瀬)

四季折々の岩手山

朝、窓から見える雄大な岩手山。
昼、仕事場の窓から見える岩手山。
夕方、帰りの車窓から見える夕陽を浴びた岩手山。
色々な姿を見せてくれる大好きな山です。
私は自然豊かな雫石が大好きです。



たかはし ようじ
高橋 洋二さん (84歳・駅前)

美しい雫石の景観

七ツ森の頂上から、俯瞰した雫石盆地の景観は、大変美しい。21歳の夏に、牧場実習で初めて雫石を訪れ、そのすばらしさに感動して、ここに住んでみたいと強く思うようになり、現在に至っております。最近では、この環境を利用して、「ロードバイク、ジャパンカップ」を、などと夢想しております。



在京雫石町友会会員 森 ツヤ子 (旧姓 大鷲) さん

中秋の名月と松茸

私は雫石町時代の繋温泉で生まれ、盛岡市になった繋小中学校に通いながら雫石川のサケやアユ、うなぎを食べて育ちました。盛岡市になって今年が70年なそうです。

盛岡の短大を卒業後、千葉の水産会社に就職しましたが会社はマレーシアとの合弁会社で、私はマレーシアからの女性研修生の教育指導担当でした。9月のある日テーブルにススキや草花、栗などを飾っていると彼女たちから「ウワア」と歓声があがりました。後からお菓子や月餅が出てくると待っていたのでした。東南アジアでは「中秋節」を皆で楽しむ習慣があったのですが、日本ではお菓子をだす習慣もなく残念な思いをさせたとあります。今年の十五夜はとても天気恵まれ、大きなお月さまが久しぶりに見られました。

7年前の十五夜はお彼岸と重なりました。ベランダに草花、里芋、月見だんごを飾り付けてほっとした時に「母危篤」の電話があり翌日帰省しました。葬儀後、実家で留守番をしていると、玄関がガラガラとあき「おばあちゃん元気、今年は松茸が豊作だった」と見知らぬ男性が大きな包みを抱えていました。お世話になった学校の先生で、定年後毎年松茸がりに見えていたようです。あと一日早ければと残念でしたが母も毎年楽しみにしていたので喜んでいました。包みの中はたくさんの松茸と大量のきのこで、早速松茸ご飯を供えました。今年の秋も帰省しましたがきのこが届いておりました。現在は繋小中学校もなくなり、母も亡くなりましたが先生方の優しさと愛情に感謝しております。

在京雫石町友会会員となって雫石町出身の皆様と毎年お会いし、交流できるのはとても生きがいで楽しい思いをしています。今年は抽選会で「菊の司大賞」が大当たりでした。

繋から見る雫石町、岩手山は今でも心に残る大好きな景観です。雫石町の自然をどうぞ大切になさってください。クマにもまげず！

昭和24年5月繋温泉生まれ。盛岡市立繋小中学校 - 盛岡第四高校 - 生活学園短大（現盛岡大学） - 水産会社（マレーシアとの合弁会社） - 公務員 - ブルネイ王国在住。趣味：料理・生け花・ガーデニング。屋号：ヤナギ、そうざえもん。



町友会での抽選会（左は同会 高畑会長）



夫と知人とディズニーランドで

雫石町へようこそ

＼ご縁があり、雫石町民になった／

おがさわら こうすけ
小笠原 幸介さん (38歳) | 駅前 | ※盛岡市出身

Q お二人の馴れ初めは？

A 同じ勤務先で出会いました。

Q 雫石町に暮らしてみているいかがですか？

A 時より見える虹や星空に心を癒やされています。

Q 町へ望むことは？

A 町外の人にもっと雫石の良さを知ってもらうために、テレビやSNS等の情報発信を積極的にしてほしいです。



自宅でみんなと

左から福来さん (9歳) 本人 幸介さん
柊花さん (7歳)、未早希さん (34歳)

なかよしシリーズ③①

今月の表紙
Photo by 川代大輔

写真左から 仁さん
はるさん
まりさん



なかむら たかのり みか
中村 貴憲さん、美香さん (上町二) のお子さん
なかよし3きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長女 はるさん (18歳) : 47 都道府県制覇
次女 まりさん (17歳) : コンサルタント
長男 仁さん (8歳) : コンビニの社長

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】 【議長交際費内訳 (10月～12月)】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

月	葬祭費		お祝い、会費	
10月	0件	0円	3件	48,000円
11月	1件	20,000円	3件	26,000円
12月	0件	0円	2件	12,000円
合計	1件	20,000円	8件	86,000円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■編集デスク

町民の皆様におかれましては、令和8年の輝かしい新春を、健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私は今年65歳になりますが、国の定義では65歳以上は高齢者です。若いころその年になったら悠々自適に隠居生活でもしているのかなと想像していましたが、そうはいかず多忙な毎日を送っています。

本年も、見やすい、分かりやすい議会だよりの作成に努めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

(広報広聴常任委員会副委員長：徳田幸男)

発行責任者(議長)／幅 秀哉 編集委員／坂井尚樹・金子一男
編集委員長／堂前義信 畠山 操・高橋公史
副委員長／徳田幸男 小笠原百合子

【訂正とお詫び】

昨年10月23日発行第135号の22ページでご紹介した大塚直人さんの行政区表記が誤っていました。訂正してお詫びします。

誤 上町一・二 正 上町三